

みずほベトナムニュース Vol.2

(2008年4月)



(写真はハノイ市にあるオペラハウスです)

〜〜 目次 〜

1. 特別企画「ベトナム労働組合 副組合長インタビュー」……………P2
2. ベトナム投資 Q&A ……………P5
3. 人事・労務「ベトナム人活性マネジメント術
①社内コミュニケーション編」……………P6
4. ベトナム法務「締切が迫る再登録法(Re-registration Decree)」……………P7
5. 工業団地便り「ロンドウック工業団地(南部)」……………P8
6. ベトナムドン為替情報 ……………P10
7. 経済データ ……………P12

編集・発行 みずほ銀行国際営業部

1. 特別インタビュー ベトナム労働組合 副組合長

マイ・ドゥック・チン (Mai Duc Chinh)氏

執筆：みずほ銀行国際営業部

ベトナムでは物価上昇に伴い、賃金アップを求めた違法ストライキが南部を中心に外資系企業で相次いで発生しています。今回は、ベトナム労働組合副組合長のマイ・ドゥック・チン氏にインタビューし、ストライキ発生の背景や対応策などについてうかがいました。

みずほ スト発生の概況について聞かせてください。

チン氏 労務問題が少なかったベトナムでもこの数年ストが多発している。これまで発生しているストライキの主な特徴としては次の5点が挙げられる。①ほとんどのストライキが南部(ドンナイ省、ビンズオン省、ホーチミン市及びその周辺)で発生②ストライキの多くは外資系企業で起きている。例えば、2007年は約8割が外資系企業で発生③労働組合主導ではなく外部から、あるいは一部不当分子が扇動④外資系企業の中でも特に台湾、韓国系企業で起きている。2007年の統計では、外資系企業におけるストライキのうち41.3%が台湾系、28.5%が韓国系で発生したという。⑤業種別で見ると、縫製・繊維・皮革などの業界でストライキが頻繁に発生している。



ベトナム労働組合 副組合長
マイ・ドゥック・チン氏

みずほ ストライキ発生の背景には、物価の上昇があるようですが。

チン氏 この数年、消費者物価指数(CPI)が年平均9%前後上昇した。2008年1~2月のCPI平均上昇率は前年同期比約14.9%に達し、労働者側は物価高騰による生活維持を理由に、20%以上の賃上げを頻繁に求めている。労働者の生活水準が以前より低くなっているために、中には、朝食を食べずに出勤する労働者も少なくない。それにも関わらず、多くの企業で昼食の経費を据え置いたままであるため食事の質は当然落ちてくる。労働者は、会社の昼食を楽しみにしているため、労働者からは不満が出る。こうした点もスト発生の原因の1つであろう。

みずほ ストライキの原因にはどのようなものがありますか。

チン氏 大きく分けると2種類ある。1つ目は、企業側の問題でストライキが発生しているケース。例えば、労働者のために保険に加入しない、外国人経営者による工場内での暴力行為、給料の未払い、経営者の態度の悪さなどもストライキを起こさせる原因だ。

ベトナムでは最低賃金が引き上げられたため、外資系企業の経営者は極力コスト削減のため、従業員の送迎バス制度の廃止、勤務体制の変更(シフトを増やしたり、残業をさせる)などいろいろな方法でコスト削減を図っている。このため、十数時間も働いてい

